

日本共産党 和歌山市会議員

ひめだ高宏ニュース

No.1427

23.3.14

2月定例会市議会報告

啓蒙の6日を過ぎて、いっぺんに暖かくなりました。季節の移り変わりには驚きです。委員会当初議案審査も終わりました。本号は3月7日の私、ひめだの一般質問の報告です。最後の質問だからと高松後援会の石山さん、西本さん、山塚さん夫妻が、花束を持って傍聴に来てくれた上に、他党派からの拍手が、と長かったので舞い上がりました。

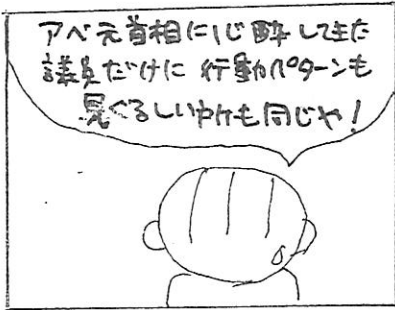
マイナ保険証医療機関の懸念

私、ひめだは、マイナンバーカードと健康保険証の一体化について質問。市報めかやまに目玉の市長コラムで24年秋には一体化が始まること書き、10月1日では率が45%であること、カードの利便性・安全性・申請の簡便性を述べ、12月中のポイント付与を説明し力が重要」と答弁。



「普及を呼びかけています。私は7月28日付け赤穂で埼玉回生協会の理事長の「システム導入が迅速である。コロナで疲弊している医療現場を振り回さないで」という「医療現場懸念」の記事を紹介し、「医療機関の懸念に寄り添う気配が全くないのはなぜかと質問。市長は、「一体化についてはさまざまな疑問や医療現場で生じる懸念と不安を解消したうえで進めていくことが重要」と答弁。

フツのフツの人々



朝日新聞さん「めんたい」

一般質問の冒頭で尾花市長と間違いました。質問が終わって控室に戻ると、総務省に圧力をかけ続けた結果、高市総務大臣) 当時(が国会答弁で安倍首相の意旨に沿い解散の意思を示したのです。

今週のフツの人々

よく似た図式だね

「政治的公平」について放送法の解釈を巡り4月半当時のマム首相官邸と総務省のやりとりを記した「内部文書」を総務省は「行政文書」と認めました。「放送法の政治的公平は、一つの番組だけでなく放送事業者の番組全体を見て判断する」とのことについて安倍首相の意向を交す磯崎首相補佐官が、「一つの番組をもって判断」するよう



ひめだ高宏

IIRの取り組みに反省なし

私、ひめだは、市長が県の進めてきたIIRに最終段階で推進を表明し、県の整備計画案を支持したものの資金計画に問題ありと県議会が否決した結果の受け止めと地元市の同意を市長と議会だけで決めずに住民の声を聞けと取り組まれた住民投票の取り組みに付した意見を求め、何らかの反省はあるのかと質問。市長は

障害者グループホーム

私、ひめだは、障害者グループホームについて、雄松町4丁目にある地域ホームたつのこの加藤直人さんから話を聞け、障害者グループホームの充足度や市営住宅の利用、施設設置の考え方を質問。また市営刺れで存続の危ぶまれている所

かったのは残念。住民投票は法の規定で進めたもので止しかつた」と反省なし。

の入居費の補てんや各施設間の入居情報などが持っている情報の開示を求めました。以前、加藤さんから国の施設建設の補助金が県下で和歌山市だけ利用できないと聞き2年前に「一般質問」検討する」との発言に復活したと勝手に思っ

中村あさひ

感染症や老朽管の調査

9日、建設企業委員会が開かれました。初日は、消防局・企業局の審査です。消防局では、409人分の人件費が計上されています。前年度と比

べて一人増えています。退職等にかかる補償による増員との事でした。コロナ禍の下で、消防局でも人手不足になっている事から、感染症に対応できる入員の確保を求めました。

ためにも老朽管の計画的な布設替えは、重要で、本市の更新率は、例年低い水準ですが、今年度は、さらに低下している事から引き上げを強く要望しました。

企業局では、今年度の水道管の更新率は0.4%を見込んでいくとの事でした。水道水を定期的に供給する



中村あさひ

い申しましたが、使えなからせうだとしていいます。

何かと民間と、国の補助金など市に有利な財源の活用を民間に叫んでいるのに

障害者ら介護問題の改善を

私、ひめだは障害者の歳入問題について質問。障害者には障害の特性に応じて様々な困難があります。障害者を持たない健常者には何でもない平らな道に段差が付いているようなものです。

障害者施設建設の国の補助金は市の出す金をあわせて使われたいことは問題です。私は、市の財源をいって、改善を求めました。

経済的負担が大きくなるなど、これが障害者の歳入問題です。

障害福祉サービスの居宅介護や生活介護は社会参加が前提であり、言葉は同じでも介護保険サービスと質的に違うこと、介護保険費の原則を規定した障害者総合支援法第7条は、障害の状況や生活の状態に応じて障害福祉サービスを継続して使えることを認めているなどだと指摘し、制度の改善を求めました。

ホント、ホント、ホント

ナナキミの「著」ひかるの「なぞ」(ひま)パブリッシングは、大阪府大で動物解剖学を教えた著者が動物の光の目と光らない人間の目の謎を解いた絵本。

IRの取り組みに反省なし

私、ひめだは、市長が県の進めてきたIRに最終段階で推進を表明し、県の整備計画案を支持したものの資金計画に問題ありと県議会が否決した結果の受け止めと地元市の同意を市長と議会だけで決めずに住民の声を聞けと取り組まれた住民投票の取り組みに付した意見を求め、何らかの反省はあるのかと質問。市長は

障害者グループホーム

私、ひめだは、障害者グループホームについて、雄松町4丁目にある地域ホームたつのこの加藤直人さんから話を聞き、障害者グループホームの充足度や市営住宅の利用、施設設置の考え方を質問。また、貸付料で存続の危ぶまれている所

かったのは残念。住民投票は法の規定で進めたもので正しいかと「と反省なし」。

の入居費の補てんや各施設間の入居情報など市が持っている情報の開示を求めました。以前、加藤さんから国の施設建設の補助金が県下で和歌山市だけ利用できないと聞き、2年前に「投資問題」が浮き出る「との投資に復活したと勝手に思っ

「介護保険は」井本ゆいち



来期の市政は

来年のことを言うて鬼が笑つと言いますが、議事として来期のことと言うて笑われるのかも知れませんが、まずは議員になることが重要ですが、

その上で来期、議員として和歌山市政にどう向き合うかを考えています。

市営住宅や学校施設の築年数が古く、数多く建物が改築待ったなしという状況の中、これをどうしていくのが課題となります。

一方で、統一協会が否定し行政も向きあってこなかったジェンダー平等、多様



井本ゆいち

な性のあり方を認めることが全国的にも進んできている、この分野で意識も制度も安んずべく必要があります。ここが変われば市政もすくまわると思います。

障害者65歳問題の改善を

私、ひめだは障害者65歳問題について質問。障害者には障害の特性にたじて様々な困難があります。障害者を持たない健常者には何でもない平らな道に段差が付いているようなものです。

障害者施設建設の国の補助金は市の出資金をあわせて使われなことは問題です。私は、市の財源を以てして改善を求めました。

その段差を埋めるのが障害者福祉サービスですが、65歳になった途端に介護保険の利用優待が押し付けられ、段差を埋める障害福祉サービスの一部が使えなくなります。また介護保険のサービス利用料は原則1割を要

り、経済的負担が大きくなるなど、これが障害者65歳問題です。障害福祉サービスの居宅介護や生活介護は社会参加が前提であり、言葉は同じでも介護保険サービスと質的に違うこと、介護保険優待原則を規定した障害者総合支援法第7条は、障害の状況や生活の状態に応じて障害福祉サービスを継続して使えることを認めている条文だと指摘し、制度の改善を求めました。

ホントの本っておもしろい

ナセキミフミヒコ著「ひかるめのなぞ」(みらいパブリッシング)は、大阪府大

で動物解剖学を教えた著者が動物の光る目と光らない人間の目の謎を解いた絵本。